氏名<u>Y.T</u>

所属している学校名

Rotterdam International Secondary School→東京大学

No.	学校名	高校所在地 (都道府県名)		高校 <sup>活</sup> 公立	_		学科・コース名(あれ ば)	試験日	入学校	  合格	補欠合格	一般  - 二		不合格	_	薦不合格	出願のみ	一般 —	集 発生 二次募集	<sup></sup>	-	推薦 学校推薦 自己推薦
1	慶應義塾大学					<u>'</u>	法学部政治学科	9月		<b>'</b>	竹	格						未	未	-	/	$\frac{\perp}{\perp}$
2	慶應義塾大学					~	経済学部	9月					~							,	/	$\perp$
3	慶應義塾大学					/	商学部	9月					~							,	4	$\perp$
4	東京大学		~					2、3月	/	1												

## 以下の①、②は受験校ごとにご記入をお願い致します。

1	は験全体(筆記等)の傾向と感想		②面接試験の傾向と感想					
No.	1から3 (慶應義塾大学) 書類審査で一次に合格すれば、二次に 現地での学校で全力を尽くすことが一番	      はおそらく確実に受かる。二次の小論文は見ているかど           	         					
No.	. (6)44346 4 3 7	     ごけでなく海外での経験や、滞在国、帰国後の学び方に。	               					

## ③受験期の勉強法は?

予備校(駿台)の小論文でやったことに関して自分なりに、インターネットで調べて知識を深めることが一番力になったと思います。英語に関しては帰国生であればレベル 的にはこなせるものが大体ですが、過去問や模擬試験を徹底的にこなしていくことが大事だとも思います。東大に関しては英語のエッセイも出題されますが、帰国生だか らといって油断せずに取り組むことが大事、個人的にはこれが一番難しかったです。帰国後英語の感覚を失うのは意外と早いものです。

## 4JPPCへのメッセージ(授業の感想等もお願いします)

ー年間、有田先生のもとでIBの日本語の授業を受けさせて頂き、7を取ることができただけでなく受験での小論文を書くときの文章力も養うことができました。貴重な授業をありがとうございました。またサッカーで時間が思う存分取れなかったなか、柔軟な対応をしていただきありがとうございました。

## ⑤JPPCの後輩ヘアドヴァイスがあればお願いします

僕はオランダにいた頃から、サッカーで忙しく授業もまともに出られていなかったのですが、どうしても両立したかったのでIBと受験生活を通してサッカーは続けてきました。 僕自身東京大学を目指していた者の中で頭は決していいほうではなかったですが、メリハリをつけて集中して勉強することでサッカーをしながらでもできることが証明できた と思います。大学は単なる小さな通過点に過ぎませんが、この姿勢は今後とも続けていきたいと思っています。皆様も僕よりも優秀な人々が多いと思うので、限界をつくら ず常に挑戦していく姿勢があれば可能性が広がると思います。必ずしも日本の大学ではなく、自分が目指すものが海外にあれば、オランダに残ったり、海外の大学にいく ことも一つだと僕は思います。